

## もりのにぎわい通信

### 2012年11月24日 定例活動報告(自然観察会)

日時：2012年11月24日(土) 13:30~15:30

場所：大藪池周辺と大釜・小釜

天候：晴 気温9~11℃ 湿度57% 風向 東 風速4m

参加者：14人 子ども：5人、大人：9人(自然観察指導員2人含む)

#### ■ 活動

13:30 集合越智中学校(大藪池入口)

13:35 出発

<観察コース>

越智中学校→大藪池入口階段→大藪池遊歩道→大釜・小釜→大藪池遊歩道→一般道登り坂→集合場所

15:30 解散

#### ■ 活動報告

11月の定例会は、3連休の初日(23日)を予定していましたが、雨で延期。24日(土)の午前中も生憎の雨で作業中止。でも、午後からの自然観察会だけは、どうしても行いたいとの思いが天に届いたのでしょう。お天気は、次第に回復。いつも活動している小山町観音地から車で約15分行った大藪池周辺と大釜・小釜(湧水)の自然観察会です。同じ村田川水系に流れる源流を自然観察ちばの指導員である須田さんと川北さんに案内していただきました。

参加者は、森もりあそび隊親子参加4家族と緑の環のメンバーでした。集合時間には、冷たい北風が吹き抜けていましたが、池の周辺まで来ると北風は止み、日差しが斜面林のヤマモミジを照らしていて一層美しい紅葉を見ることができました。

観察指導員の須田さんから、「何か見つけたら教えてくださいね。」早速、クモを見つけた子どもから、クモの解説まで・・・。(ジョロウグモ、オスのジョロウグモ、イソウロウグモ、ゴミグモなど)不思議なクモの世界があることを垣間見ました。道端に落ちていたアズキ・ササゲを見つけて・・・。畑で栽培していたのではとお赤飯をイメージしたり・・・。資材置き場に信号機が建っているなど・・・。

越智中学校の前の黄色く色づいたイチョウを見ながら紅葉のメカニズムは、寒くなると葉の付け根と幹の間に離層ができるために、でんぷん工場に水が行かなくなり葉緑素が壊れて、もともとあった黄色い色素が目立ってくるそうです。また、赤く紅葉するのは、葉でできた養分(糖分)が枝に移動できなくなり、葉にたくさん貯まり、更に寒さが増すと糖分からアントシアニンというものができ、それと同時に葉緑素が壊れるので赤く見えるようになるのだそうです。標高差10メートル3階建ての建物から降りるような長い階段を下りながらリンドウの花などを観察。

大藪池が見えてきました。階段の踊り場からは、オシドリのオスとメス、オオバンがいました。

オシドリは、一年ごとにパートナーを替えるのだそうです。おしどり夫婦のイメージとは違い意外でした。周囲2.3キロの大藪池の遊歩道沿いは、地域の皆さんが大切に自然保護に取り組みされていてよく整備されていました。遊歩道から少し入った休耕田沿いを進むと目指す大釜・小釜があり

ます。湧水の流れもあり潜ってしまわないように安全なところを選んで進むと山に囲まれた奥に大釜・小釜がありました。大釜は、水が湧き出るたびに40cmくらいの水の輪のような波紋ができて、不思議な生き物のようにも見えます。小釜は、500円大で球体のレンズのように水が湧いていました。すると、近くのコウゾの木の枝にのどと頬が紅い鳥を発見。ウソという野鳥だそうです。ウソの鳴き声が、口笛のようなのでこの名がついたそうです。(口笛を吹くことを嘯うそぶくという)

小釜に手を入れたり、カワニナ、オニヤンマのヤゴやサワガニとの出会いに感激して気をとられていると……。ジワジワと右足だけが異様に冷たくなっていて、気づけばなんと長靴が完全に泥に呑み込まれていました。自力で脱出したもののお恥ずかしい限りです。

こうして、感動の観察会後半は、スズメウリとカラスウリの種の観察などをしながらようやく集合場所に戻りました。

観察指導員の須田さん、川北さんのお蔭で普段見過ごしていたクズの葉っぱのことやカラスウリの種など、知らなかったことに出会えました。そして、今日の観察会を楽しみに市川市からお越しの2家族の皆様ご参加有難うございました。また、自然観察の仕方をよく知っている森もりあそび隊員の生き生きとした姿や虫の豊富な知識には、とても感心しました。

身近なところにも自然がたくさん残されているのを観る機会となって大変良かったです。次回も楽しみにしています。

(記録：星野静枝)

.....

■森もりあそび隊

午前中はあいにくの雨。午後一番に越智中学校をスタートし、いざ村田川源流の「大釜、小釜」へ。エネルギーを蓄えた森もりあそび隊のメンバー達は、野に放たれた子犬のように駆け回る(笑)途中、出会う虫や草花に足を取られてしまい、なかなか目的地にたどり着けない。「ハズミダマ」の元から白くて小さいものを「あかちゃんBaby」と名付けて集めたり、紅葉したカエデの葉っぱを手にとってみたり…。思い思いの観察。

「大釜、小釜」は大人達も大興奮！まるで砂が生きている様に文様を描く、砂のアート。深さは、大人の膝までは悠にあるでしょう(実証済み)。水温も測ってはいませんが、暖かく感じる温度。辺りにはクレソンが生い茂り、水が奇麗で栄養が有る証明。サワガニ、オニヤンマのヤゴ、カワニナが生息し鳥のウソも観られました。

「あーあ、自由研究の前にきたかったな～」と、二人の隊員(笑)

帰りにはシュロの葉で作ったバツタのお土産を指導員さんから頂いて、とっても充実した観察会でした。

ちなみにこの日見つけたクモは、イソウロウグモ、センショウグモ、ジョロウグモ、ワカバグモ、クサグモ、スジブトハシリグモ、マミジロハエトリ、ゴミグモだそうです…。

(記録：石阪 淳)

.....

■ お知らせ ホームページもご覧下さい→ <http://www.g-cycle.org/>

次回の定例活動は、12月8日(土)(雨天時12月9日(日))クズの蔓を使った、かご作りとクリスマスリースを作ります。お昼は、温かいトン汁に焼き芋をする予定です。



集合写真



集合場所

クモの観察





越智中学校の黄葉したイチョウ



イチョウの色づき



リュウノウギク



スズメウリ



マユミ



ガマズミ



自然観察指導員さん教えてください！



知らなかったクズの葉っぱのこと



大きなアケビの実



ヤマモミジが見頃に・・・



ハダカホオズキ



スッポンダケ



休耕田の入口



大藪池案内板



きれいな水の流れ



大釜の波紋



小釜（水の湧き出ている様子）



大釜（水の湧き出る様子）



湧水調査に使われたパイプと源流域



ウソを写真に撮る参加者



オニヤンマのヤゴ



カラスウリの蔓ってどうして長いの？